日刊木材新聞
発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2017
本紙の無断複製（コピー・PDF）配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

都内で不燃木材の製造開始

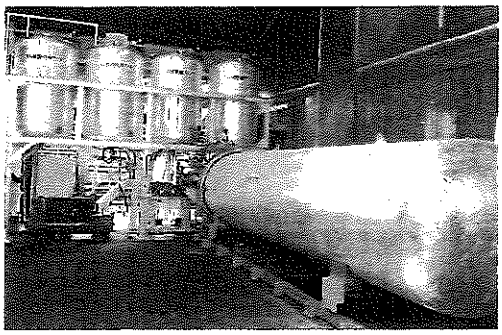
細田木材工業

短納期、加工・塗装、森林認証にも対応

細田木材工業（東京都、細田悌治社長）は、昨年末から準備を進めていた不燃木材の製造を今月から開始した。東京・新木場の本社工場に乾燥機3基と薬剤含浸装置を置き、東京都心で唯一の不燃木材メーカーとして、短納期はもとより加工、塗装、施工まできめ細かく対応する。製造は主に同社が不燃木材の認定を取得している杉材で、各地の地域産材活用の要望にも応える。「十数年前から蓄積してきた不燃木材の研究成果と当社の86年にわたる木材製品製造のノウハウを基盤に、安心して使ってもらえる不燃木材を供給し、首都圏を中心とした国産材の利用拡大に貢献したい」（細田社長）。

同社は2007年に杉材12～50ミリ厚、無塗装で不燃木材の認定番号（NM－1707）を取得し、自社製造の準備を進めてきた。数年前から仕入れ販売を始め、同社が供給する不燃木材が仕様にスペックされるケースも出てきた。需要拡大の手応えを背景に、昨秋から不燃原板の在庫で短納期化に取り組むとともに、自社製造に乗り出すことを決めた。

同社が用いる薬剤はホウ酸系・リン酸系で、杉材12～50ミリ厚。製品名はセーフティ不燃。このほか準不燃や難燃、桧など、用途や仕様に応じて幅広く対応する方針だ。既存の加工機や塗装ラインを活用した加工や塗装、持ち込みの材料を処理する注文にも応じる。


東京・新木場の本社工場に設置された薬剤含浸装置

また、同社は国際的な森林認証制度のFSCとPEFCのCOC認証を取得しており、国産材かつ森林認証の不燃製品も供給可能だ。

不燃木材の納期は1～1カ月半が一般的だが、同社は都心での自社製造の強みを生かし短納期に対応する。注文の多い羽目板やルーバーに適したサイズは常時在庫を置き、在庫状況に応じて即納も可能とし、品質面はもとより納期面でもユーザーが安心して使える環境を整える。在庫は杉の赤白込み、無節～上小節で、18×120×4000、3650ミリのほか、四方プレーナー仕上げで14・34×115×4000ミリと17×145×4000ミリをそろえる。

新たに導入された真空加圧含浸装置（ヤスジマ）は、原板を入れるバットが5100×950×950ミリで、最大5メートルの長さまで不燃処理できる。乾燥機（ヒグマ乾燥機）の最大処理能力は11・5立方メートルが2基、5・7立方メートルが1基。蒸気式だが、配管を通る水蒸気の熱をファンで循環させて乾燥する乾式タイプで、薬剤の溶脱につながる可能性のある加湿を防ぐ。熱源はプロパンガスで、蒸気は乾燥機と含浸装置で使用する。

不燃木材の製造開始に併せて、扱い品目や在庫品、施工例などを紹介する不燃木材専門のホームページも新たに開設する予定だ。